

東京大学大学院農学生命科学研究科
生産・環境生物学専攻（植物分子遺伝学研究室） 特任助教 公募

1	職名及び人数	特任助教（特定有期） 1 名
2	採用予定日	令和7年4月1日（予定）
3	任期	令和8年3月31日まで□ 予算の状況、業務の必要性及び勤務成績の評価に基づき令和11年3月31日までを限度として更新する場合があります 更新は、予算の状況、従事している業務の進捗状況、契約期間満了時の業務量、勤務成績、勤務態度、健康状況等を考慮のうえ判断する。
4	勤務地	東京都文京区弥生1-1-1 弥生キャンパス
5	所属	大学院農学生命科学研究科 生産・環境生物学専攻 植物分子遺伝学研究室 変更の範囲：本学の指定する場所（配置換又は出向を意に反して命じられることは原則ない。詳細は東京大学教員の就業に関する規程第4条による。）
6	業務内容	1)細胞質ゲノム編集と遺伝子導入技術の研究と開発 2)学術変革A「細胞質ゲノム制御」の運営補助 3)研究室の教育・研究活動への参加・協力 変更の範囲：配置換、兼務及び出向を命じることがある（意に反して命じられることは原則ない。詳細は東京大学教員の就業に関する規程第4条による。）
7	就業時間	専門業務型裁量労働制（1日7時間45分働いたものとみなされます。）
8	休日・休暇	土・日、祝日法に基づく休日、年末年始（12月29日～1月3日） 年次有給休暇、特別休暇、忌引休暇 等
9	給与□	年俸制を適用し、業績・成果手当を含め 月額 370,000 円以上（経験及び能力による）
10	諸手当	通勤手当（支給要件を満たした場合）
11	社会保険等	文部科学省共済組合、雇用保険（法令の定めるところにより加入）
12	応募資格□	1)博士号取得者（または採用日までに取得見込の者） 2)植物の分子生物学と分子遺伝学の研究経験があること 3)オルガネラのゲノム編集や遺伝子導入分野で優れた業績があること
13	提出書類	1)履歴書（東京大学統一履歴書を以下のURLからダウンロードし作成すること。） https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/about/jobs/r01.html 2)学生に対するセクハラ・性暴力等を原因とする過去の刑事罰、行政処分及び懲戒処分にかかる申告書 https://www.a.u-tokyo.ac.jp/wp-content/uploads/job/shobunrekitoushinkokusho.docx 3)研究業績リストはresearchmapもしくはORCIDのリンクアドレスを記載（学位論文、原著論文、著書、総説、特許、その他） 4)主要論文別刷3編 5)社会貢献（学会活動、委員会活動等） 6)これまでの研究の自己評価と今後の研究の展望（1000字以内） 7)上記1)～6)の書類について、PDFファイル（全てを1つのファイルにまとめパスワード設定したもの）をE-mailで送付してください（メールのタイトルは「特任助教授応募書類（植物分子遺伝学研究室）」としてください）。パスワードの連絡法については応募者の判断に任せます。
14	応募締切	令和6年12月21日（土）必着 書類選考の上、合格者に対し12/27にオンライン面接を実施します。
15	書類送付先及び問い合わせ先	東京大学大学院農学生命科学研究科 生産・環境生物学専攻 担当：霜田政美 TEL：03-5841-5062 E-mail：m-shimoda[at]g.ecc.u-tokyo.ac.jp（[at]は@に置き換えてください） 応募書類は上記e-mailアドレスに電子媒体の送付とする。
16	特記事項	1)試用期間あり（採用日から14日間） 2)任期あり
17	募集者名称	国立大学法人東京大学
18	その他	応募書類は返却いたしませんので、予めご了承ください。 取得した個人情報は、本人事選考以外の目的には利用しません。 東京大学は男女共同参画を推進しており、女性の積極的な応募を歓迎します。 受動喫煙防止措置の状況：敷地内禁煙（屋外に喫煙場所あり） 採用時点で、外国法人、外国政府等と個人として契約している場合や、外国政府等から金銭その他の重大な利益を得ている場合、外為法の定めにより、一定の技術の共有が制限され、結果として本学教職員としての職務の達成が困難となる可能性がある。このような場合、当該契約・利益については、職務に必要な技術の共有に支障のない範囲に留める必要がある。